

# 森のおくりもの2月



マンサク（マンサク科）



もうすぐ立春、とはいってもまだ寒い日が続きそうです。日が高くなってきたからでしょうか、寒いのにさえずり始めた鳥たちが見られます。

雪があると他の季節にはわからない色々なことが読みとれるため、姿はめったに見られない野生動物たちの存在を一番身近に感じられる季節です。雪は少ない方が暮らすのには楽ですが、雪がふる地方に住む私たちならではの楽しみをもう少し満喫してみませんか。

【写真・文 早坂 徹】

# 白い金平糖のような 「セリバオウレン」 (芹葉黄連)



ちいさな金平糖のようなお花をたくさん咲かせるセリバオウレン。場所によっては、一面お花畑のようになることもあります。

であいの道にある株は、いつも一足早く咲くのですが、今年は一足どころかずいぶん早くて1月5日にはもう咲いていましたよ。

小さな花ですが、一つ一つよく見てみると雄花、雌花、両性花、黄色い花、めしべの色が赤いもの、黄緑のもの、一株から5つ咲くもの、等々いろいろあります。

是非、いろんな花を見つけてみて下さいね。また、どんな虫がやってくるのかも観察できると、より楽しくなりますね。

## 両性花



## 雄花



## 雌花



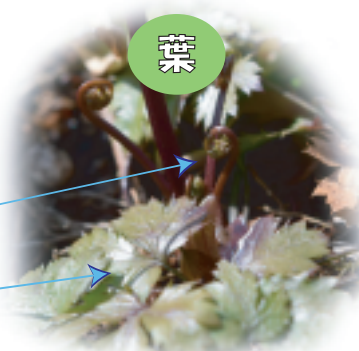
■花の大きさは雄花と比べて、め花の方が明らかに大きい。

■花芽から出てくる時は、茎がS字に曲がって出てくる。



■花びらのように見える外側の大きなものはガク。花弁はガクよりも小さいよ

## 葉



■花が終わると、根元から新しい葉がぐるりと出てくる。  
今ついている葉は昨年の春に出たもの。

## 実

■花車のような実。風や雨にあたり揺れた時に、先の穴から種がこぼれ出るよ。



♣ 1つの株から雄花と両性花がでることも！



♣ たまに黄色い花もでてくるよ！



花にやってくる虫は・・・  
小さなハエの仲間や、ハネカクシの仲間。

【レンジャー：黒川周子】

\* 名前の由来：葉がセリの葉に似ていて、丸い塊が連なった黄色い根を持つことから。

## 2月の生物ごよみ

1月初めに『であいの道』で早咲きのセリバオウレンを見つけました。セリバオウレンの開花時期は毎年3月上旬なので、本格的に咲き始めるのはまだ先なのですが、ちょっとした春を感じました。

マンサクの開花もまだなのですが、1月下旬に『やすらぎの道』で黄色い花びらをのぞかせたマンサクを見つけました。今年はマンサクの花付きが悪いようで太白山でも数えるほどしか花芽をつけていません。それでも春は少しずつ近づいているようです。



であいの道で見つけた早咲きのセリバオウレン

### ネズミの生体展示をはじめました！

アカネズミとヒメネズミの生体展示。1月17日と25日の2回にわたり、罠（シャーマントラップ）を仕掛けアカネズミ4匹、ヒメネズミ2匹の捕獲に成功。罠を仕掛ける場所が悪いのか、毎年ヒメネズミの捕獲に苦戦しますが、なんとか目標だった数をとることができました。展示は4月末ごろまでの予定なので、この機会に是非お越しください。



展示している飼育ケース 左がアカネズミ 右がヒメネズミ エサはヒマワリの種やクルミなどを与えている。なかなか姿を見せてくれない！



元気に走り回るアカネズミ。目がくりくりとかわいい！



こちらはヒメネズミ。写真では違いがわからないかも！

【レンジャー：齋 正宏】

※シャーマントラップ ネズミなどを生け捕りにする折り畳み式の捕獲トラップ。四角柱の形をした中にエサを置いて地面に放置し、ワナの中にネズミが入るとふたが閉じる仕掛けになっています。

※注意 ネズミを含めて、野生動物を勝手に捕獲・飼育することはできません。自然観察センターでは特別な許可をとって飼育をしています。



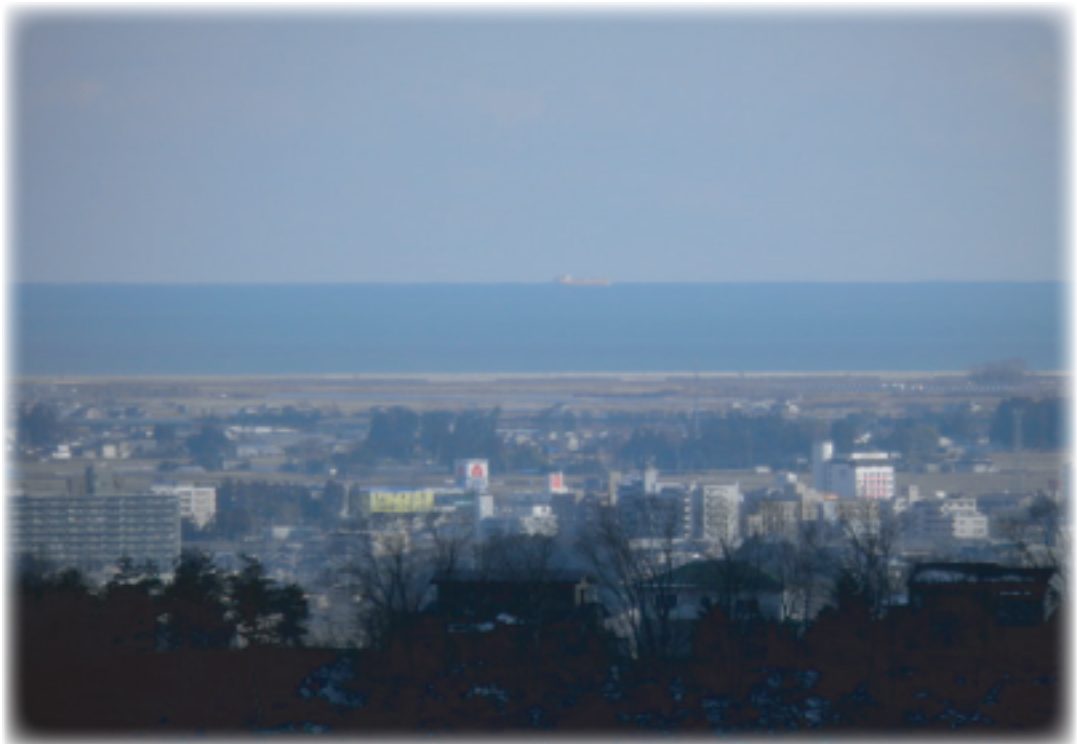
## レンジャーの森の雑記帳



レンジャーになり毎日、太白山自然観察の森のような山の中にばかりにいと、無性に海を間近で見たくなるときがたまにあります。そんなとき、いくつもある尾根筋ルートの園路を歩くと晴れていれば遥かな海を遠望できます。洋上にフェリーや大型の船舶がのんびりと航行していて、陸地には人々が暮らす街並みが広がっていると何故か気持ちが和みます。自分がフェリーで行った楽しい船旅も思い出したりすると、なおさら海を見に行ってみたくなります。山に居ながら海を想うのも不思議な感じではありますが、海を観るのも太白山自然観察の森の楽しみ方のひとつなのかもしれません。

そんな尾根から眺めていると、あの日を境に自然の脅威を感じ、身近であったはずの海への畏怖の気持ちも同時に生まれました。太白山からみると、あんなに海から離れているのに砂浜に届く波音が一瞬間こえたような気がしました。春になったら久しぶりに海に会いにいこうかと思っています。

【レンジャー：阿部正明】





## 黄色いリボンが春を告げる

# マンサク 満作

さて暦の上では春、立春となりました。まだまだ寒い日もありますが、森の小さな春はちゃんと始まっています。木の花の1番バッターはマンサク、くるくるとした4枚の黄色いリボンのような花弁がかわいなお花です。2月に入って、木によっては黄色いリボンが少しだけ顔を出した花芽を見ることができるようになりました。例年中旬ごろに開花します。

マンサクの名前の由来は、春のいの一番に「先ず咲く」が転訛してマンサクになったとか、マンサクの花がたくさん咲いた年は「豊年満作」になるからとか、いろいろ諸説あります。

今年は例年より花芽が少なく「豊年満作」がちょっと心配です。みんなで貴重な花を大事に観賞し、五穀豊穰を祈願しましょう！

- ・マンサク科
- ・落葉小高木
- ・東北南部以西の本州太平洋側、四国、九州の山地に自生
- ・花は両性花
- ・葉は単葉で互生。葉身は菱形状円形で左右非対称



### 観察の森のマンサクビュースポット

★マンサク



## 満作なるほどメモ

東北地方の一部ではフクジュソウもマンサクと呼んでいる



若枝の皮を剥いて振り、薪を縛ったり山仕事の縄の代用としたものを「捻苧(ねそ)」※と言う。

捻苧は世界遺産白川郷の合掌造りでも、屋根の骨組みの結束に使われている。

北米にはマンサクと近縁のアメリカマンサクがあり、葉や樹皮に含まれる成分は化粧水として利用されている。花は秋に咲く。

【レンジャー：遠藤和子】

※マンサクの皮の他に、クロモジの皮や藤蔓なども用いられている。

# 2月のイベント&お知らせ

## ◇動物のフィールドサインを探そう

・森の中に残された足跡や食痕から、観察の森にどんな生き物が暮らしているのか探ります。

【日 時】2月18日(土) 午前10時～11時半

【講師】西谷理恵氏  
(宮城県森林インストラクター協会)

【定員】20人(先着)

【申込み】2月7日(土) 午前9時から電話受付

## ◇ガイドウォーク「館長と森を歩こう」

・観察の森の小さな春を館長が案内します。

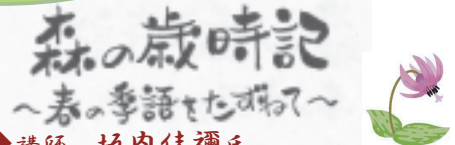
【日 時】2月26日(日) 午前10時～11時半

【服装】歩きやすい服装で

【申込み】不要



## 3月の講話会予告



◆講師 坂内佳禰氏

(宮城県俳句協会副幹事長)

身近な動植物を季語とした俳句を通し、自然の魅力を再発見してみませんか？

【日 時】3月26日(日) 午後1時半～3時半

【定員】40名〔先着〕

【申込み】3月7日(日) 午前9時から電話受付

## ◇森のクラフト「木の実でつくる、お雛さま」

・木の実や小枝を使って自由にクラフトできる工作コーナーを設置します。

【日 時】2月25日(土)、26日(日)

【受付時間】午前10時～午後3時半

(費用無料、材料がなくなり次第終了)

※事前申し込みは必要ありません。

受付時間内に観察センターにお越しください。



## ◆「小鳥のレストラン」を開いています！3月31日まで

・えさ台に集まる野鳥を、あたたかい部屋の中から観察できます。

## ◆12月から3月まで冬季のガイドウォークは午前1回です。

・冬季(12月から3月まで)は午前10:00～11:30のみの開催となります。



毎週  
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

テーマ「森とけものたち」

2月の開催日は

5日、12日、19日、26日です。

開催時間：午前 10:00～11:30

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のため、しばらくの間通行止めになります。

2月の休館日

6日、13日、  
20日、27日



## 宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 7番のりば 乗車時間 約40分
  - ② 長町駅東口 3番のりば 乗車時間 約30分
  - ③ 八木山動物公園駅 6番のりば 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車  
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘経由山田南ニュータウン行」)  
いずれも宮営アパート前 下車→徒歩15分

## お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

## ♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」  
バックナンバーはWebでチェック！

2017年2月号(毎月1回5日発行)

発行：(公財)仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan\_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>